

## セミナー「実務で使う地盤の地震応答解析」

主催：日本地震工学会

後援：土木学会・日本機械学会・日本建築学会・日本地震学会・地盤工学会・建設コンサルタンツ協会

日本地震工学会では、過去に開催し好評であった標記講習会を本年度も開催いたします。本セミナーは地盤の地震応答解析を実務で行っている方、およびこれから習得したいと考えている方を対象として、地震応答解析の方法を実務的立場からわかりやすく解説するセミナーです。

本セミナーでは、難しい理屈はなるべく避け、応答解析の基礎から結果の解釈までのノウハウを具体的に丁寧に解説いたします。日本地震工学会会員はもとより、後援各団体会員の技術者も是非ご参加ください。

### 1. 開催概要：

講師：吉田 望 教授（東北学院大学）

日時：2015年11月27日(金) 10:00～18:00 (9:30受付開始)

会場：東京大学 地震研究所 2号館 5階 第一会議室

[http://www.eri.u-tokyo.ac.jp/?page\\_id=185](http://www.eri.u-tokyo.ac.jp/?page_id=185)

定員：120人（先着順）

### 2. プログラム：

#### (1) 地震応答解析の基本条件と影響要因

- ・ 波動伝播経路
- ・ 地震動増幅のメカニズム
- ・ 地震動の減衰と上限
- ・ 地震応答解析の流れ

#### (2) 地震応答解析に必要な地盤調査と土質試験

- ・ 力学特性と計測方法
- ・ 室内試験とその整理
- ・ 地震応答解析に用いる力学特性の求め方
- ・ 力学特性の設定
- ・ 複素剛性

#### (3) 空間のモデル化

#### (4) 地震応答解析手法

- ・ 波動方程式と運動方程式
- ・ 逐次積分法（非線形法）
- ・ 変数分離法（等価線形法）
- ・ 等価線形法の短所とその改良

#### (5) 減衰の設定

- ・ 減衰の種類
- ・ Rayleigh減衰
- ・ 散乱の減衰

(6) 計算例

- ・ 地震応答解析の精度
- ・ 定数設定の誤差が応答に与える影響
- ・ 解析例
  - 小ひずみ
  - 中ひずみ
  - 大ひずみ
- ・ 難しい問題
- ・ 数値計算事例から見た各種要因
  - Rayleigh減衰のもう一つの効果
  - 等価線形化法と非線形法
  - 等価線形解析の適用性
  - 基盤が深いときの減衰
  - 減衰が大きいと応答は小さくなるか

(7) 総まとめ

3. 参加費（資料は当日配布します）：

日本地震工学会 会員：8,000円、学生会員：2,000円  
後援学会・協会 会員：8,000円、学生会員：2,000円  
非会員 一般：12,000円、学生：3,000円

4. 申込方法：

申込用紙に必要事項を記入のうえ、メール (office@general.jaee.gr.jp) あるいはFAXにて日本地震工学会事務局までお申し込みください。確認次第、参加票をお送りいたします。なお、公費支払い等で請求書をご希望の方は通信欄にその旨ご記入ください。

【申込締切】2015年11月19日（木）（定員になり次第締め切ります）

5. 申込み・問合せ先：

(公社) 日本地震工学会事務局  
〒108-0014東京都港区芝5-26-20建築会館内  
電話03-5730-2831、Fax03-5730-2830  
電子メールoffice@general.jaee.gr.jp  
<http://www.jaee.gr.jp>

6. その他：

本セミナーは、以下の団体（認定順）のCPDプログラムに認定されています。

- (公社) 土木学会 (6.8単位)
- (一社) 建設コンサルタンツ協会 (6.58単位)
- (公財) 建築技術教育普及センター (7時間)